



ことしも

えがおいっぱい!

よつかいどうしりつよしおかしょうがつこう こうちようしつ
四 街 道 市 立 吉 岡 小 学 校 校 長 室 だ よ り

NO32 R8.9.18 (金) <こどもばん>

＜本をたくさん読もう＞

まいにち あめ ふ あめ ひ す かた あめ
毎 日 の よ う に 雨 が 降 っ て い ま す 。 雨 の 日 の 過 ぎ し 方 は い ろ い ろ あ り ま す が 、 あ る 雨 の
ひ と し よ し つ い ね ん せ い し や し ん あ ほ ん さ つ い じ ょ う
日 、 図 書 室 に 行 っ て み る と 、 2 年 生 (写 真) に 会 い ま し た 。 本 や 「 3 5 冊 以 上 お
め で と う 」 の し お り を 持 っ て い る 子 も い ま し た 。



＜本を読むとなぜいいの?→京都市西陣中央小の高橋校長先生はこう言っています＞

- ① 本を読むと「言葉の力」が育つからです。本にはふだんの友だちとの会話では使
われない言葉や言い方がたくさん出てきます。その言葉に出会うたび、皆さんの「言葉
の引き出し」は増えていきます。すると自分の思いや考えをより豊かに相手に伝え
られるようになります。また、人の話や文章の意味を理解する力もついてきます。
 - ② 本を読むと「想像力」が育つからです。登場人物はどんな表情をしている
のか、本の中の世界はどんな景色かを思い浮かべながら読みます。自分の心の中
で「物語の世界」を創り上げることで「想像力」が豊かになります。
 - ③ 本を読むと「人の気持ちを考える力」が育つからです。物語の主人公が喜
んだり悲しんだり悩んだりする場面を読むと「自分だったらどうするかな」「どんな気持
ちだったのかな」と考えます。さまざまな考えにふれることで、周りの人の気持ち
を思いやる心が育っていきます。
 - ④ 本を読むと「新しい世界を知る力」が育つからです。遠い国の暮らしや昔の出
来事、宇宙や自然の不思議など、本を開けばたくさんの世界に出会えます。
- 特に③「人の気持ちを考える力」は9月1日の始業式で、私がみんなに身につけ
てほしい力としてお話しした力です。さあ、さっそく好きな本を読んでみよう!